

教育相談から見える子供の姿

吹田市立教育センターでは、子供や保護者、教職員の相談に応じるため、臨床心理士と公認心理師の資格をもつ「教育相談員」を配置し、教育相談事業を実施しています。今年度は、現時点(12月末)で5000件以上の相談がありました。様々なサインを出す子供たちに対し、教育相談員はどんなことを大切にしているのでしょうか。教育センターの竹内道子教育相談員にお話を伺いました。

新型コロナウイルス感染症が子供の心に及ぼす影響

新型コロナウイルスが私たちの生活様式、学校のあり方に大きな変化を及ぼしてから約2年が経とうとしています。現在はオミクロン株が出現し、どうなるかわからない日々がまだ続きそうです。コロナのように普段は起こらない「ストレス」があることで、元々持っていた症状や感情が浮上したり、強まったりとも言われています。例えば、一般的に以下のような症状や行動が増えたと言われています。

- ・ ゲームやスマホをする時間が増えたこと、それに伴う生活リズムの乱れ
- ・ どうなるかわからない不安や恐怖の増大
- ・ 刺激に敏感になったり反対に鈍感になったり、無気力になりやすくなったりする
- ・ 感染症への不安から手洗いを何回もするなどの強迫行動が出る
- ・ 頭痛や腹痛だけでなく、めまいなど自律神経系の不調や摂食障害になる
- ・ 勉強のスピードについて行けず自信をなくす
- ・ 「出す」場が減少したことで、何かの拍子で爆発するように暴言や暴力が吹き出る

また、昨年は10代の自殺が多かったという報道がありました。相談の中でも、不登校や自傷する子供、表面では元気にしていても孤独感や「死にたい」と発する子供も増えたように思います。また、今は症状として出ていなくても、コロナなどのストレスが準備因子になり、今後症状や問題が出現する可能性があります。

子供の思いと大人の思い

怒りや傷つき、寂しさなど「不快」や「負」の感情に気づいて抱えることは難しいことです。抱えきれなくなった感情は、不登校や暴力行為、自傷や身体症状など、様々なサインとして現れます。しかし表面に見える問題の背景にある感情は、目に見えないため、周囲が気付くのに時間がかかります。

それらの感情が内側にこもった時に、子供は不登校になることがあります。その時皆さんは子供にどう言いますか…?

大人は、「こうあって欲しい(早く学校へ行って欲しいなど)」「そうすべきだ(学校に行くべきだなど)」という思いや願望を子供に伝えてしまいがちです。

子供達は学校に行った方がいいことを十分認識しています。しかし「なぜかそうになってしまう」状態に苦しみ困っています。大人の期待に応えることのできない子供に対して、大人は「もう少し頑張ったらいいのに」「前はできたんだからできるはずだ」など、意図せず子供を追い込んでしまっている可能性があります。大人からのこうしたメッセージを受け取った子供達は、どのような思いを抱くでしょうか。

「わかっていてもできない自分はだめなんだ」「苦しみをわかってもらえない」「考えを押しつけられる」「怒られるから相談したくない」などと感じ、自分を否定し、他者に不信感を抱き、ますます心を閉じ、ついに私たちは子供達と「コミュニケーション」が取れなくなってしまいます。

子供の心に触れるには・・・

私たち相談員は、「どうしたらいいですか？」など、「方法」や「答え」を求められることが多いです。

まず、私たちは保護者や教職員から話を聴き、子供のことを理解していきます。時には本人から話を聴いたり、発達検査や心理検査を実施したりして、本人の特性やモノの捉え方の傾向、興味や関心は何か、何に困っているのか、困ったことを人に伝えたり対処したりする力はあるのか、周囲の人とどのような関わり方をするのか・・・など多くの情報を得ようと試みます。そのやりとりのプロセスの中で、サインの背景にある感情や、何に気持ちがとらわれてしまうのか（失敗への怖れがあるのかなど）、問題が起こる要因について考えます。

私たちは「登校刺激をすべきか待つべきか」などの二者択一ではなく、「その『子供が』『今』『何を理解』してほしいのか」、知識や常識、経験にとらわれず、「心を遣って」子供の生の心の声に耳を傾けるようにします。

そして、閉ざした子供の心をほぐし、心の変容に働きかけていきます。具体的には・・・

＊子供が「楽しい」「好き」と思っていることに関心を向けます。「好き」は心のエネルギーになり、そこに関心を向けてもらうことで、「わかってもらった」感覚や他者と共有する楽しさを味わうことができます。

＊「できなかった、しなかった」ことよりも、どんな些細なことでも子供が「自らやろうとした思いや行動」に焦点を当てるようにします。子供が「しない、行かない、わからない」と言うと、大人はがっかりすることが多いですが、子供は「自分の意志を示すことができた」とも言えます。少しの変化への注目、子供の自己肯定感の向上の助けになります。

＊「学校に行くときと行かないときと何か気持ちや行動に違いがあるのかな」など、子供が自分の状態を客観的に捉えられるように問いかけます。そのことで、自分の言動を考える機能を育みます。

＊「思うようにならなくてイライラしたね」「一人だと寂しさがこみ上げるね」などと、子供が自分の気持ちを飲み込みやすいように、咀嚼しながら言葉で伝え返します。そのことで、子供が自分の感情を「自分のモノ」として引き受けたり、人に感情を伝えたりする力がつきます。さらに心に余裕ができると、人の意見や気持ちを取り入れることができたり、他者の気持ちを想像したりすることにもつながると思います。

(不登校を、暴力行為や自傷などに置換えて考えることもできます。)

子供達が困った状態から抜け出し、成長するためには周囲の理解と支えが必要です。先生達とも協力しながら子供が社会の中で居場所を見つけ、心が生き生きとし、挑戦する意欲が湧くことを目指したいと思います。

教育相談員 竹内 道子

研修 Pick Up

【研修番号149】特別支援教育研修

「読み書きが苦手な子どもたちの事例から考えるインクルーシブ教育」

講師：学びプラネット合同会社 代表 平林 ルミ

【Microsoft Stream にて 1 月 14 日(金)～3月 25 日(金)まで配信】

1本が15分だから
スキマ時間で学べる！

今年度の5月にも、SUN ネット端末を活用した合理的配慮の提供について研修していただきました平林先生に、社会モデルの視点から考えるインクルーシブ教育についての研修動画を作成していただきました。

今回の研修動画では、15分動画の4本構成となっており、視聴しやすいものになっております。ぜひ御覧ください。

※視聴を希望する際は、研修申込システムより申込みください。

令和3年度 1・2月教職員研修予定 (法定研修は除く)

研修分類	研修番号	研修講座名・講師等	実施日時等	会場等	対象者
基本研修	【5】	新規採用養護教諭研修 「学習評価を生かした授業づくり【検証】/2年目に向けて(服務規律等)」 講師:教育センター 指導主事	2/10(火) 14:30 ～17:00	教育センター 研修室	新規採用 養護教諭
	【7】	新規採用栄養教諭研修 「学習評価を生かした授業づくり【検証】/2年目に向けて(服務規律等)」 講師:教育センター 指導主事	2/10(火) 14:30 ～17:00	教育センター 研修室	新規採用 栄養教諭
	【9】	新規採用事務職員研修 「2年目に向けて(服務規律等)」 講師:教育センター 指導主事	2/10(木) 16:00 ～17:00	教育センター 研修室	新規採用 事務職員
	【11】	新規採用幼稚園教諭研修 「2年目に向けて(服務規律等)」 講師:教育センター 指導主事	2/10(木) 16:00 ～17:00	教育センター 研修室	新規採用 幼稚園教諭
	【21】	スクールリーダー研修A 「授業改善を推進するために」 講師:大阪成蹊大学 教授 服部 敬一	2/7(月) 15:30 ～17:00	メイシアター レセプションホール	首席
	【22】	スクールリーダー研修B 「指導助言について【検証】」 講師:京都教育大学 教授 黒田 恭史	2/8(火) 15:00 ～17:00	教育センター 研修室	指導教諭 等
	【23】	スクールリーダー研修C 「職場におけるアンガーマネジメント」 講師:日本アンガーマネジメント協会 尾崎 沙千	1/13(木) 15:00 ～17:00	教育センター 視聴覚室	主幹・主査
	【24】	コアスタッフ育成研修 「授業力向上の実践検証【検証】/初任期教職員育成・支援実践の検証【検証】/危機管理と対応実践の検証【検証】」 講師:教育センター 指導主事	1/24(月) 14:00 ～17:00	教育センター 視聴覚室	6年目以上の教職員
専門研修	【125】	教科等研修【英語】 「今後の英語教育はどうあるべきか?～自律的学習者をつくるために～」 講師:追手門学院大学 教授 蛭田 勲	オンデマンド型で実施 (12/1～1/7)		小・中学校 教職員
	【126】	教科等研修【英語】 小・中学校共通【英語】授業研究研修 「外国語教育における小・中のつながり」 講師:ノートルダム女学院小学校 ヘッドスーパーバイザー 田縁 真弓	2月予定 午後	千里市民 センター	小・中学校 教職員
	【25】 【142】	特別支援教育研修・特別支援教育コーディネーター研修 「不器用さがある子どもの書字に向けた支援」 講師:株式会社アニメシオン 代表取締役 太田 篤志	1/28(金) 15:00 ～17:00	メイシアター 大ホール	学校・園 教職員

【25】	特別支援教育コーディネーター研修【必修】 「状況調査について/引継ぎについて」 講師:教育センター 指導主事	Teamsによるオンライン実施 2/14(月)15:30~17:00		特別支援教育 コーディネーター
【149】	特別支援教育研修 「読み書きが苦手な子どもたちの事例から考えるインクルーシブ教育」 講師:学びプラネット合同会社 代表 平林 ルミ	Stream による動画配信 (1/14~3/25)		小・中学校 教職員
【226】	情報教育研修 「情報セキュリティについて」 講師:園田学園女子大学 教授 堀田 博史	集合 対面型	1/26(水) 15:30 ~17:00 内本町コミュニ ティセンター	小・中学校 教職員
		オン デマ ンド型	Stream による動画配信 (1/31~2/18)	
【312】	栄養教諭等研修 「食に関する指導に係る全体計画の作成(食育指導養成研修の伝達研修)」 講師:山田第三小学校 指導栄養教諭 池田 裕美	2/25(金) 15:00 ~17:00 (予定)	教育センター 研修室	栄養教諭 臨時技師
【411】	教育課題別研修【人権教育①】 「LGBTと教育現場~教職員にできること~」 講師:一般社団法人ELLY 理事 峰山 和真	1/20(木) 15:00 ~17:00	教育センター 研修室	小・中学校 教職員

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施方法等が変更になる可能性があります。

吹田市立教育センターから各校に通知している実施要項・シラバスにて詳細は確認してください。



経験年数の少ない教職員のいろいろな悩みを個別相談できるところです!

- ◆ 開室時間 午後5時00分~午後6時30分
- ◆ 場 所 教育センター他
- ◆ 対 象 者 経験年数の少ない教職員 ※複数可
- ◆ 対 応 者 教育センター指導主事等
- ◆ 内 容 仕事に関するすべての悩みの相談
(学級経営・教材研究等)

- ◆ 申込方法 メールまたは電話にて申し込みください。
- メール送信先: ① 初任者研修担当へ Te-Comp@ss メールにて
② 教育センター代表メールへ s-educ@city.suita.osaka.jp
- ◇改めて、教育センター担当より、連絡をします。
- ◇電話は、教育センターに電話してください。